

対日理解促進交流プログラム (Japan's Friendship Ties Programs)

目的

- 日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、将来、各界で活躍が期待される優秀な人材を招へい・派遣し、我が国の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘することで、我が国の外交基盤を拡充する。
- 被招へい者・被派遣者に、日本の外交姿勢、日本の魅力等を積極的に発信してもらい、国際社会における対日イメージ向上や日本への持続的な関心の増進に寄与する。

対日理解を深める

親日派・知日派の発掘

外交基盤の強化

概要

- 対象者： 招へい： 高校生～社会人等
派遣： 高校生～大学院生等
- 期間： 10日間程度（平成27年度内に実施）
- 招へい対象地域： アジア大洋州、北米、欧州、中南米
- 派遣対象地域： アジア大洋州、北米
- 規模： 約29億円、約5,700人

事業の特徴

- プログラムには、我が国の基本外交についての説明を含む。
- 被招へい者・被派遣者を通じた我が国の外交姿勢・魅力についての対外発信を強化。
- 事業目的達成のため在外公館のノウハウやリソースを最大限に活用。
- フォローアップとして参加者のネットワークを確立し、事業の効果を継続させる。

事業の実施形態

